

令和3年度 多様な新ニーズに対応する 「がん専門医療人材（がんプロフェッショナル）」養成プラン インテンシブコースセミナー

日時:第1回 2021年4月23日(金) 9:00~12:10
第2回 2021年4月30日(金) 9:00~12:10
場所:学内:兵庫県立大学 明石看護キャンパス(演習室 406)
学外:兵庫県立大学遠隔講義室(Zoom)

テーマ:がんゲノム医療

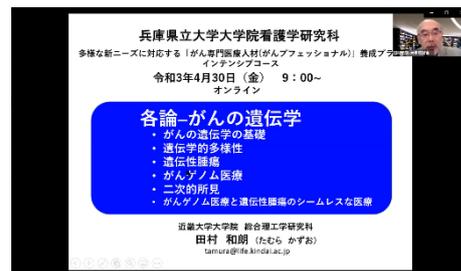
【第1回】ヒトゲノムの構造と機能、がんの分子生物学、遺伝医学:がんゲノム解析法、遺伝学的検査、個別化医療への応用

【第2回】腫瘍遺伝学(1):がんの遺伝学の基礎知識、ヒトの遺伝学的多様性、遺伝性腫瘍、リスクアセスメント 腫瘍遺伝学(2):遺伝性腫瘍、がんゲノム医療と二次的所見、高度実践看護に活かす腫瘍遺伝学

講師:田村 和朗先生(医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院 遺伝子診療センター(センター長)近畿大学大学院総合理工学研究科客員教授)

受講者:第1回 5名(うち学外2名)、第2回 4名(うち学外1名)

主催:兵庫県立大学看護学研究科 多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材(がんプロフェッショナル)」養成プラン代表 川崎 優子



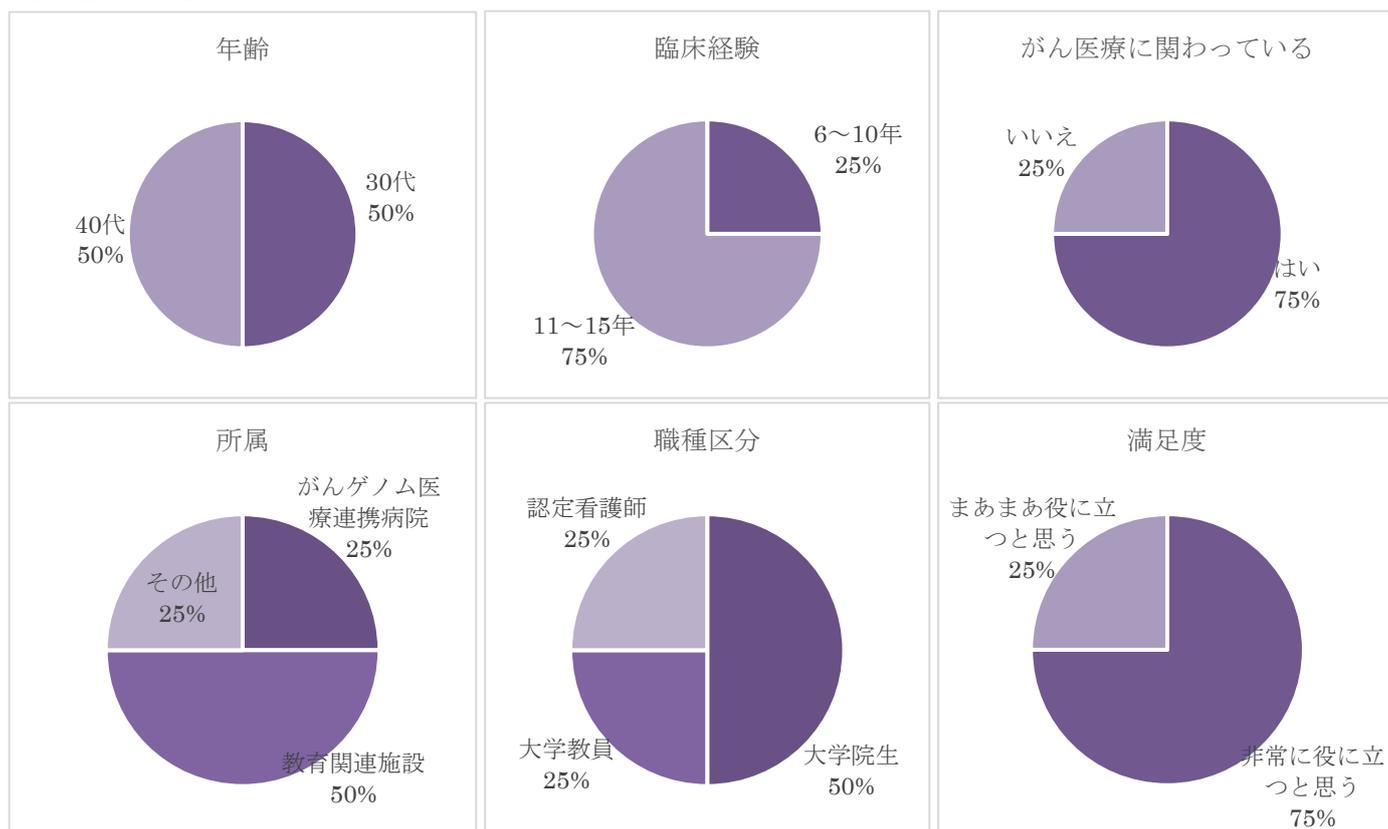
<概要>

医療法人 渡辺医学会 桜橋渡辺病院 遺伝子診療センター(センター長)近畿大学大学院総合理工学研究科客員教授 田村 和朗先生から、がん治療看護論特別講義「がんゲノム医療」として、ヒトゲノムの構造と機能、がんの分子生物学、遺伝医学:がんゲノム解析法、遺伝学的検査、個別化医療への応用、腫瘍遺伝学(がんの遺伝学の基礎知識、ヒトの遺伝学的多様性、遺伝性腫瘍、リスクアセスメント)遺伝性腫瘍、がんゲノム医療と二次的所見、高度実践看護に活かす腫瘍遺伝学)について、2回に分けてお話がありました。

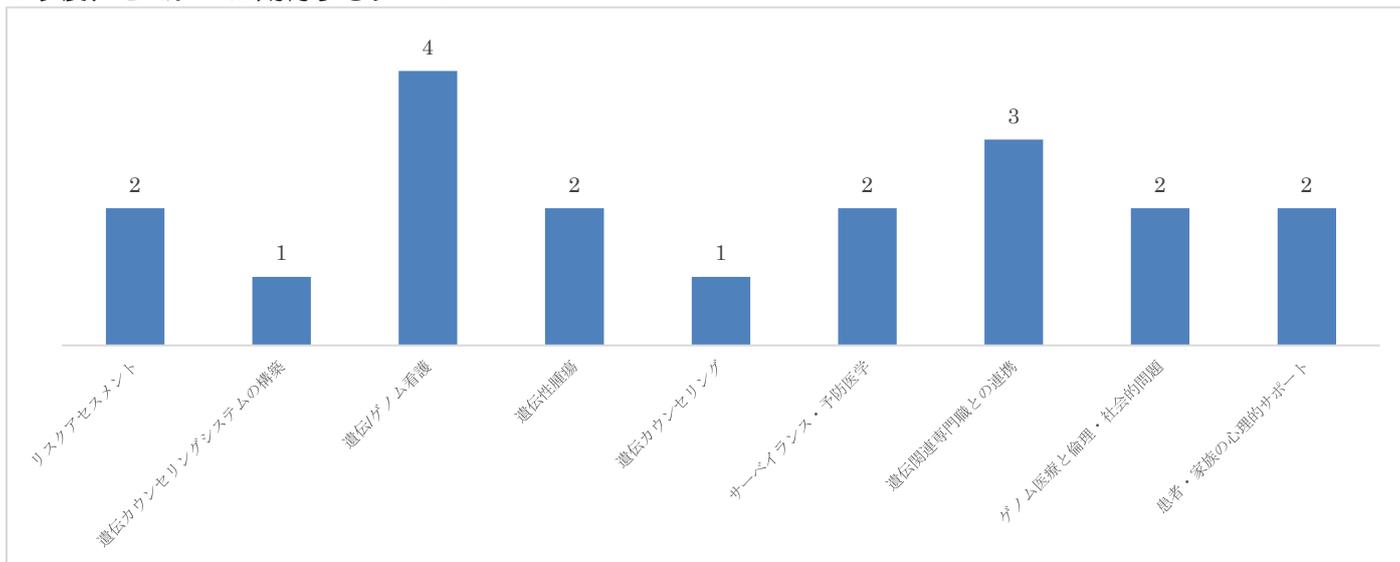
基本的なゲノムの話から始まり、がんの原因としてのゲノムをとらえる視点、治療としてゲノムの考え方などより高度なお話から、ゲノム異常があるときの罹患リスク率や主ながんの発生までのメカニズムなど、とても具体的なお話まで幅広い内容の講義となりました。参加者からの質疑にも丁寧にお話をいただくことができ、とても丁寧で質の高い講義となりました。

<アンケート結果>

●参加者について



●今後、セミナーに期待するテーマ



●参加者からのコメントより

▼今回のセミナーで、あなたが感じたこと、印象に残ったことがあれば自由にお書きください。

- ・医療でゲノムを取り入れていく場面が増えていくとおっしゃっていたことが印象に残りました。
- ・TMBとMSI-Hに関する関連性を本などだけでは十分に理解出来ていなかったため、ご教示いただき十分理解することが出来ました。
- ・かなり詳しいところまでわかっているゲノムであるが、その取り扱いについてはまだまだやるべきことがたくさんあると感じました。
- ・がんゲノム医療についての基礎知識が学べて大変良かったと思います。ありがとうございました。

▼がんゲノム医療において、今最も強く感じている課題をお書きください。

- ・検査段階まではパネル検査の普及によって進んでいますが、検査後、適応薬剤がまだ追いついていない状況をどのようにケアしていくのか、という点がまず現状での問題だと思います。
ゲノム治療というと特別な治療と患者・家族、(医療者も)受け止めがちな現状はあると思いますが、CNSとして他の治療と同様に、選択肢の一つとして、患者と家族にとって最適な選択が出来るようにケアをしていきたいと考えます。

▼ご意見・ご感想

- ・噛み砕いて説明していただきわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・2回に渡り、大変有意義なご講義をありがとうございました。ゲノムに関する講義など多くは、体系的な部分に着目した講義が大半である中、遺伝学的基礎知識などからご教示頂けたことは大変大きな学びになりました。昨年度も拝聴させて頂きましたが、最後に先生もお話をされておられたように、ゲノムの分野は日々刻々と新たな報告や検査などが出てきている分野であり、臨床での状況なども伺うことができ、新たな学びを得られました。昨年度の実習前と今年度の実習終了後に講義を受けさせていただいたことも、理解を深められた要因とも思います。質問にも一つ一つ丁寧に返答頂き感謝いたします。今後も、機会がありましたらご講義拝聴させて頂きたいと存じます。ありがとうございました。